

10.6

維持法 暴威取締法 爭議調停法 小作爭議調停法
治安警察法、行政施行法に反対し其の撤廃を期す。

一、労働組合法案、小作法案、出版法案、改正貫徹を期す。

方法

一、全国的反対運動を起すこと

一、演説會、研究會、茶話會に於て憲法の正体を大衆に暴露すること

労働保険制度獲得の件

枝光 文部 提案

要旨

一、失業保険制度の確立

一、健康保険法の改正

資本主義の発展過程と終極の崩壊過程と過程するに至る

資本の恐慌(不景気)は愈甚しく頻発し、然し其の恐慌期間も亦長期にわたる。此の恐慌に際して常に大業に苦むものは我々労働階級である。然しなから、是は資本主義制度下に於ける無政府の生産の必然的所産にして、之等失業者に對しては當然政府及資本家は失業保険を制定して生活の最低保證とする義務がある。政本先進國に於ては既に此の失業有保険が制定せられて居るが我國に於ては未だ之が設けがなぬ故に吾等は失業保険法の制定を要求し獲得せねばならぬ。

本年一月より実施せられたる健康保険法は被保者ブルジョア階級に吾等労働階級を欺瞞し、階級懐柔し、失職怖する無産階級の階級意識を社會政策の美名を以て抑圧せんとするものである。

健康保険法は労働階級の最も苦痛とする疾病、負傷、分娩、一死七等、金を得て病を癒すも大業の約らね易き題目を掲げて其の実工場法の